

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立二之江中学校

全国学力・学習状況調査 A・B層の割合		
年度	国語	数学
令和 8 年度の目標	60.0%	50.0%
令和 7 年度の目標	50.0%	50.0%
令和 6 年度の結果	48.1%	43.0%
令和 5 年度の結果	43.3%	61.0%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果 A・B層の割合			
学年	国語	数学	英語
第 2 学年	45.2%	35.5%	58.0%
第 1 学年	50.0%	43.3%	50.0%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・年 8 回の授業検討会を実施し、「学んでいない生徒」を見つけ、支援できる力を養う。 ・すべての教科において、コの字型 4 人グループ学習を活用した、探究的な学習の実施。 ・学習から離脱した生徒に対して、1 分以内にどの教員も適切な声かけを行う。	・江戸川っ子スタディウィークに合わせたドリルパーク課題の定着度テストとテスト実施前のドリルパーク課題の配信と履修率の確認 ・実力試験の実施 2 年生・年 1 回 3 年生・年 3 回	・各教科日々の宿題や家でできるドリル練習の指示。 ・教室でも家でも自分のペースで学ぶことができるように、課題と資料で作る自習のような授業を展開する。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・「これどうやるの?」と周囲の生徒とかかわりをもてるように支援する。 ・特に支援が必要な生徒には、発見後 1 分以内に学習の支援をする。	・各章末のまとめの時間において、1 分以内に教員が適宜指導を行う。 ・放課後学習教室「EDOスク」の利用と学習カルテを活用した個別支援を行う。	・学習から離脱した生徒に対して 1 分以内に支援を行う。 ・ドリルパーク課題でつまづいている生徒に対して、適切な支援を行う。
成果指標	・全国学力調査 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」肯定的な回答率 80%以上 ・評価評定（学年末）の第 3 観点の評価が B 以上の生徒 70%以上にする。 ・江戸川区総合学力調査 2 学年次指標として質問番号 国語: 5 60%以上 数学: 3 76%以上 英語: 1 60%以上	・実力試験（2 年・3 年） 国語・数学・英語において、標準点が 50 ポイント以上の生徒の割合が 40%以上 ・3 つの評価（全学年）学期ごとの評価で第 3 観点の評価が「C」となる生徒に丁寧な助言を実施。 ・江戸川区総合学力調査 2 学年次指標として標準店 国語 66（現-3.2） 数学 46（現-3.9） 英語 55（現-3）	・全国学力調査 「授業時間以外の勉強時間」 1 時間以上の回答率 80%以上 ・全国学力調査 「学習以外での携帯電話やスマートフォン利用時間」 3 時間以下の回答率 30%以上